

● 津波の特徴

津波の特徴

- 津波が押し寄せてくると、膝上の高さでも、人は立ってられません。
- 津波の波長(波の山から山までの距離、南海トラフ地震の場合は約50km)は長いため、深海ほど速く伝わり、浅くなれば速度は遅くなりますが波高は高くなる性質があります。
- 地震の発生位置(震源)や規模(マグニチュード)により、予想される到達時間や高さは違ってきます。
- 第一波が最も大きいとは限りません。繰り返し津波は襲ってきます。
- 引き波で始まるとは限りません。

津波の脅威

- 津波は川をさかのぼり溢れることがあります。
- 平野部は注意が必要です。東日本大震災では平野部で内陸に5km以上津波が遡上しています。
- V字型の湾などでは津波のエネルギーが湾の奥に集中し、波高が高くなる場合があります。
- 引き波は流れが強く、壊れた家や船などは沖に流されます。



【岩手県洋野町種市漁港】 写真出典: Yahoo! JAPAN 東日本大震災 写真保存プロジェクト

東日本大震災からの教訓・後世に伝えたいこと

東日本大震災を経験した被災者から出された主な意見
高知県「南海トラフ地震に備えよき」より

教訓

- 大きな揺れを感じたら、すぐに避難する。
- ここなら津波は来ないだろうと思込むのは危険。
- 過去の津波経験がマイナスに働くことがあり、経験にとらわれないことも重要である。

避難行動・手段

- 緊急時に持って行く物を準備しておくことが重要である。
- 高いところへ逃げる。忘れ物をして、絶対に取りに帰らない。
- 安全な場所を自分で判断できるようにしておく。

● 津波警報などの種類

気象庁は、地震が発生したときには地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分(一部の地震については最速2分程度)を目標に、大津波警報(特別警報)、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

	予想される津波の高さ (平常潮位からの津波で変化した波の高さ)		想定される被害	高さのイメージ	取るべき行動
	数値での発表(高さ予想)	巨大地震の場合の表現			
特別警報 大津波警報	10m超(10m~)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。		マップの浸水域や海岸、川の近くに居る人は、ただちに近く津波避難場所(高台等)や津波避難ビルなどに避難
	10m(5m~10m)				
津波警報	5m(3m~5m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。(内閣府データ:木造家屋は2mの浸水で全壊)		津波避難場所(高台等) 津波避難ビル
	3m(1m~3m)				
津波注意報	1m(20cm~1m)	表記しない	海の中では人は早い流れに巻き込まれ、養殖いかだが流失、小型船舶が転覆します。		

● 津波情報の伝達方法

津波警報などが発表された場合には、防災行政無線・広報車・消防車などを通して、沿岸住民のみなさん、海岸付近に滞在する観光客、釣り客などに対し、迅速に周知を行います。
※南海地震と思われる強い揺れ又は、弱くとも長い揺れを感じたら、警報を待たずに、すぐに避難しましょう。

防災行政無線(サイレン)

- アナウンス(音声放送)
- サイレン

テレビ・ラジオ

- ケーブルテレビ・スワンTV 11-2ch (すくも行政チャンネル)
- 高知放送(RKC) 1395kHz
- NHK高知 第1放送 1026kHz
- NHK-FM 高知 82.5MHz
- FM高知 81.3MHz

配信メール

- エリアメール・緊急速報メール
宿毛市に位置する携帯電話(docomo、softbank、auの対応機種のみ)を対象に、緊急情報などが一斉配信されます。事前登録は不要です。

インターネット(パソコン等)

- 宿毛市 <http://www.city.sukumo.kochi.jp>
- こうち防災情報 <http://kouhou.bousai.pref.kochi.jp> (こうち防災情報(携帯用))
- 気象庁 <http://www.jma.go.jp>

